

事業番号	事務事業名	栄養委員活動費	所管課名	保健福祉課	令和 2 年度課長名	水島 剛
02115	政策名	1	ころあたたかい福祉の里づくり	係名	健康係	担当者・シート作成者
	施策名	12	健康づくりの推進	根拠法令等	鏡野町栄養委員会規則	

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	<p>今年度は改選の年であり、現栄養委員は1年目(任期3年)。栄養委員の活動としては、町主催の栄養教室や県主催の研修会への参加、公民館事業の協力、地区活動への参加等があり、地区住民に対して食を通じた健康づくり活動を行う。〈業務内容・手順など〉栄養委員が地区で健康づくりの普及啓発を行えるよう、栄養委員の組織育成(栄養教室の企画・運営)を行い、学んだことを地区へ伝達する地区活動を行えるよう援助を行う。</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、例年通りの活動が難しい年になったが、栄養教室は感染症対策を行い、実施し、地区活動では、人を集めて行う地区活動は難しいため、訪問活動・地区回覧板を用いた活動により、地区への伝達活動を行った。</p>	<p>昭和33年山陽町に栄養改善組織が誕生。以降各市町村へ広がった。「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに町民一人ひとりが充実した豊かな人生を過ごせるよう食生活改善活動や健康づくりのための運動活動を行う健康づくりボランティア。</p>

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 町民	ア 人口	人	見込 実績	12,435 12,926	12,285 12,756	12,143 12,625	11,970	11,800
イ 栄養委員	イ 栄養委員数	人	見込 実績	130 130	130 130	128 128	128	128
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 生活習慣病を予防し、健康づくりを推進する	ア 栄養教室受講率	%	目標 実績 達成率	70 78 111.4%	70 74 105.7%	70 77 110.0%	80	80 96.3%
イ 栄養や食生活習慣についての知識や関心を深めてもらい、食生活を改善する	イ 地区での栄養改善普及事業参加者数	人	目標 実績 達成率	9,680 9,051 93.5%	9,680 6,176 63.8%	9,680 2,186 22.6%	3,000	6,000 36.4%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 栄養委員の組織育成	ア 栄養委員研修会等への参加者人数	人	目標 実績 達成率	211 304 144.1%	211 323 153.1%	211 346 164.0%	350	350 98.9%
イ 地区での栄養改善普及事業	イ 栄養教室開催回数	回	目標 実績 達成率	3 3 100.0%	3 3 100.0%	3 2 66.7%	3	3 66.7%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 04		項 01		目 01		大事業 中事業					事業番号	
	一般会計		衛生費		保健衛生費		保健衛生総務費		03 01						
	予算上の事業名														02115
	栄養委員活動費														
予算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	決算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比		
国庫支出金							国庫支出金								
県支出金							県支出金								
町債							町債								
その他特財							その他特財								
一般財源	941	940	796	887	920	-144	一般財源	636	613	687	887	920	74		
合計	941	940	796	887	920	-144	合計(A)	636	613	687	887	920	74		

財源名称	従事正職員人数	1	1	1	1	1				
	延べ業務事務時間	960	960	960	960	960				
	人件費計(千円)(B)	3,247	3,360	3,209	3,216	3,216				
	最終予算額	796千円	予算執行率	86.3%	トータルコスト(A+B)	3,883	3,973	3,896	4,103	4,136

主な支出事業内容(予算)	報償費 報償金	60千円	主な支出事業内容(決算)	報償費 報償金	60千円
	需用費 消耗品費・食糧費・印刷製本費	478千円		需用費 消耗品費・食糧費・印刷製本費	412千円
	役務費 通信運搬費・保険料	162千円		役務費 通信運搬費・保険料	146千円
	使用料及び賃借料	10千円		使用料及び賃借料	0千円
	負担金	71千円		負担金	70千円

事業番号	02115	事務事業名	栄養委員活動費	所管課名	保健福祉課
------	-------	-------	---------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 新型コロナウイルス感染症の流行により、免疫力アップ等食への重要性が高まってきているが、感染症の影響により例年通りの地区活動が難しく、食に関する情報を伝達しにくい状況にある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 令和2年度の栄養教室は、調理実習や試食を中止し、教室の人数制限・教室回数の増加等、感染症対策を十分に行い、実施した。各地区での調理実習や人を集めて行う教室が難しい中、地区で健康づくりに関するチラシを作成し、広報かがみのへ差し込みや地区回覧板を通して住民へ伝達する地区も見られた。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? コロナ禍の中で、活動が難しい。調理実習や訪問活動をしたいけれど、もしものことが起きると怖いので活動を自粛してしまう。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	町民の方が、いつまでも健康な日々を過ごすためには一人一人の健康問題を地域のみで解決しようとする活動が必要である。本人だけでなく、家族、友人、ご近所さんへと働きかけ、仲間とふれあを通じて地域ぐるみのより良い食習慣づくりと繋げ、健康な状態で暮らしてもらおうという施策に結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	行政機関の行う事業・行事の参画、住民や他団体との協働の2本柱で住民の健康づくりに取り組んでおり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地はないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	全町民を対象としており、適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	教室内容は町の現状に適したものや対象者の興味を引きつけるものとして、教室参加者の向上を図る。また、コロナ禍地区活動が実施しやすいよう、活動の補助等の体制を整える。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	健康づくりは地域づくりを進めていくことが不可欠である。栄養委員活動は、行政が行えない地域の細部で活動を行っており、より身近な食を通じた健康づくりの担い手として、健康づくりの推進を行っているため。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	活動内容の確認を行い、改善点があれば改善を図る。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	栄養教室の講師の選定、必要物品等、成果の向上のためには、削減は難しい。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	栄養委員活動は栄養士だけでなく、地区担当保健師、愛育委員、地区住民等と協力し、活動を行うことが多い。栄養委員と共に地区の現状に沿ったより良い活動を進めていくため民間委託等による削減は難しい。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	地域から栄養委員を選出し、全町民を対象に行っており、公平・公正である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	栄養委員の活動は、行政だけでは行えない地域の細部での活動を補うことができる。栄養委員と地域の結びつきをより密にし、正しい食生活の取り組みを行うことにより、健康に対する知識を高め、鏡野町の健康水準の向上につなげることができる。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、地区での活動が難しい現状にあり、地区への伝達が難しくなった。町民の健康づくりの推進のためには、コロナ禍の中でも実施可能な地区活動を栄養委員と一緒に検討していく必要がある。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							
新型コロナウイルス感染症の影響により、教室の開催が難しい現状にあるが、感染症拡大防止策を十分に行い、実施するだけでなく、健康づくりに関する知識や、学んだ知識をコロナ禍の中でどのように地区へ伝達していくか、具体的な方法の提案等を含めた教室内容の検討を行う。																									